

## ■執筆者紹介

### \* 斉藤 豊治 (さいとう・とよじ)

第 1 章・終章

1942年生。京都大学大学院法学研究科博士前期課程修了  
現在、大阪商業大学経済学部教授・甲南大学名誉教授・弁護士  
〔主要業績〕  
『少年法研究 1 適正手続と誤判救済』(成文堂, 1997年)  
『少年法研究 2 少年法改正の検討』(成文堂, 2006年)  
『阪神大震災と犯罪問題』刑法雑誌42巻1号(2002年)

### 平山 真理 (ひらやま・まり)

第 2 章・第 5 章〔翻訳〕

1973年生。関西学院大学大学院博士課程後期課程単位取得退学  
現在、白鷗大学法学部准教授  
〔主要業績〕  
『刑事訴訟法入門』(八千代出版, 2011年/分担執筆)  
『刑事政策のすすめ——法学的犯罪学の試み(第2版)』(法律文化社, 2007年/共著)

### 岡本 英生 (おかもと・ひでお)

第 3 章・第 5 章〔翻訳〕

1965年生。神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了  
現在、甲南女子大学人間科学部准教授  
〔主要業績〕  
『人をあやめる青少年の心』(北大路書房, 2005年/共著)  
『非行少年・犯罪者に見られる阪神・淡路大震災の影響——非行・犯罪と震災との関連についての事例研究』犯罪心理学研究34巻1号(1996年/共著)

### 松原 英世 (まつばら・ひでよ)

第 4 章・第 9 章〔翻訳〕

1969年生。関西学院大学大学院法学研究科博士課程後期修了/博士(法学)  
現在、愛媛大学法文学部教授  
〔主要業績〕  
『企業活動の刑事規制——抑止機能から意味付号機能へ』(信山社, 2000年)  
『厳罰化を求めるものは何か——厳罰化を規定する社会意識について』法社会学71号(2009年)

### Emily R. Berthelot (エミリー・ベースロット)

第 5 章

Assistant Professor of Criminology at University of Arkansas Little Rock, Department of Criminal Justice. 暴力犯罪を中心に研究する若手の研究者。

### 横山 実 (よこやま・みのる)

第 6 章

1943年生。中央大学大学院文学研究科博士後期課程修了/法学修士・文学修士  
現在、國學院大学法学部教授

〔主要業績〕

『人々の意識と犯罪化・重罰化』菊田幸一・西村春夫・宮澤節生編『社会のなかの刑事司法と犯罪者』(日本評論社, 2007年)  
'Environmental Pollution by Corporations in Japan' Pontell, Henry N. and Gilbert Geis (eds.), International Handbook of White-Collar and Corporate Crime. New York: Springer(2007)

### 阿部 恒之 (あべ・つねゆき)

第 7 章

1961年生。東北大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了/博士(文学)  
現在、東北大学大学院文学研究科教授  
〔主要業績〕  
『今を生きる——東日本大震災から明日へ!復興と再生への提言 1 人間として』(東北大学出版会, 2012年/分担執筆)  
『防災の心理学』(東信堂, 2009年/分担執筆)

### 竹村 典良 (たけむら・のりよし)

第 8 章

1957年生。中央大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学  
現在、桐蔭横浜大学法学部教授  
〔主要業績〕  
『犯罪と刑罰のエピステモロジー』(信山社, 1999年)  
Transnational Crime/Harm/Injustice and Struggle for Social Justice: Development of Chaos/Complexity Criminology, A/CONF.213/IE8, Twelfth United Nations Congress on Crime Prevention and Criminal Justice, Salvador, Brazil, 12-19 April 2010.

### Michael Levi (マイケル・レヴィ)

第 9 章

DSc is a Professor of Criminology at Cardiff University's School of Social Sciences. 経済犯罪を専門とする犯罪学者で、多数の著述がある。

### Tom Horlick-Jones (トム・ホリック・ジョーンズ)

第 9 章

PhD is a Professor of Sociology at Cardiff University's School of Social Sciences

### 立石 雅昭 (たていし・まさあき)

第 10 章

1945年生。京都大学大学院理学研究科博士後期課程修了/理学博士  
現在、新潟大学名誉教授  
〔主要業績〕  
『地震と原発事故——福島原発震災の徹底検証を』日本の科学者46巻11号(2011年)  
『中越沖地震と柏崎刈羽原子力発電所——全原発の耐震設計の早急な再検討を』日本の科学者42巻12号(2007年)

### 青木 秀樹 (あおき・ひでき)

第 11 章

1951年生。京都大学法学部卒業  
現在、弁護士  
〔主要業績〕  
『原発事故と私たちの権利——被害の法的救済とエネルギー政策転換のために』(明石書店, 2012年/分担執筆)  
『改訂版 Q&A災害時の法律実務ハンドブック』(新日本法規, 2011年/分担執筆)

### 松宮 孝明 (まつみや・たかあき)

第 12 章

1958年生。京都大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学/博士(法学)  
現在、立命館大学大学院法務研究科教授  
〔主要業績〕  
『刑事立法と犯罪体系』(成文堂, 2003年)  
『刑事過失論の研究』(成文堂, 1989年)